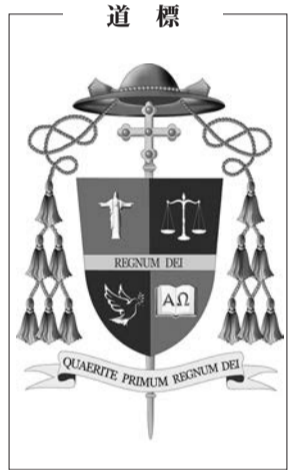




〒892-0841 鹿兒島市照国町13-42 カトリック鹿兒島教区 電話099 (226) 5100 振込口座 02030-2-8359 編集発行 教区広報部 1部60円年間千共1100円



教会の隠蔽体質改善に乗り出す

教区が性虐待防止宣言と性虐待防止及び被害者支援に関する規程発表

中野司教は4月7日に開かれたコンベンツスで「性虐待防止基本宣言」と「性虐待防止及び被害者支援に関する規程」の2通の教区文書を発表した。同文書は6日に開かれた司祭評議会での審議を経て承認されたもので、2020年4月7日からの発効となった。

【解説】2002年に米国ボストン教区で明るみに出た聖職者の性虐待事件をきっかけに全世界に真相究明の動きが拡大した。それによって教皇庁は全世界の

コロナに負けず洗礼復活祭に母間教会で

徳之島の母間教会(福岡英雄神父主任司祭)で、4月11日(土)の復活徹夜祭に洗礼式が行われました。

「新型コロナウイルス蔓延防止」のため、この日のミサは非公式で参列の自粛が求められ、巡回を含む各教会から代表者1人(合計12人)でのミサとなりました。

そんな状況下で洗礼の恵みを受けられた徳勝則さん(57歳)は伊仙町面縄出身。所属も面縄教会になります。徳さんは長年、調理師として活躍され、この度の洗礼式後の祝いの席では、ご本人自らが手料理を準備してくださいました。

また祝宴では、レジオマリエから花束贈呈があるなど、少人数ではありますが家族的な雰囲気の中で温かみを感じられ、大きな喜びに包まれた復活祭となりました。



徳之島では、5月24日に予定されていたバザーも延期となりましたが、聖母月のこの5月にはマリア様に「新型コロナウイルス感染症に苦しむ世界のための祈り」「ロザリオ一環」を毎日おささげするしかないという思いで続けています。どうぞ皆様も、慣れないマスクでの生活も大変ですが、皆で力を合わせて乗り切ることができるよう祈り続けましょう。(徳之島 順秀子)



シノドスニュース

教区シノドス開催で設けられた3専門部会では、2月16日(日)教区本部で初会合を開いた。

▼信仰部会(部会長・川口茂終身助祭) 司祭5人、終身助祭2人、修道者1人、信徒6人が出席。その席で、提言書の確認等と意見交換を行った。

▼典礼部会(部会長・梶尾泰英神父) 6人の司祭と終身助祭1人、信徒6人が出席。出席者による典礼に関する思いと小教区における現状を報告し合った。

▼宣教部会(部会長・頭島光神父) 司祭3人、修道者1人、信徒7人が出席。部会のあり方について話し合い、今後は①若者と社会、②社会との関わり、③高齢者と家庭などの専門委員会を設けることを確認した。

教区人事

▼ティエン神父(聖心教会主任)は、奄美カトリック女性連盟顧問司祭

▼タム神父(大熊教会主任)は、奄美連合壮年会顧問司祭

▼松永正男神父(古田町主任司祭)は、奄美地区修

道女連盟指導司祭及びレジオマリエ名瀬クリア指導司祭 ※いずれも4月12日付

司祭の消息

▼田端孝之神父(コンベンツアル会・古田町教会協力司祭)は5月1日付で



中野道子さん帰天

5月1日(金)午前3時38分、中野裕明司教の母堂・マリアカタリナ中野道子さんが入所先の老人施設(鹿兒島市川上町)で帰天した。97歳。教員の経験を持つ道子さんは、指宿教会付属幼稚園で働いたほか、幾つもの教会で賄いとして、また純心学園でも働くなど教会組織の中で活躍した。その中野道子さんの通夜は5月2日18時から、葬儀ミサ・告別式は3日12時からザビエル教会でしめやかに執り行われた。

司教の手紙

教区の皆さまお元気でしょうか?

教会は伝統的に6月を「イエスのみ心の月」として祝います。「聖体の祝日」を祝った後の金曜日がその祝日です。今年は6月19日になります。聖金曜日がイエスの受難の日ですが、その日以外に再度イエスの十字架架での死の意味を新たにする日でもあります。

「イエスのみ心」の信心の聖書の根拠は次の箇所です。「兵士の一人が槍でイエスのわき腹を刺した。すると、すぐ血と水が流れ出た」(ヨハネ19・34)。ヨハネ福音書だけに記載されているこの文面を具象化した御絵は有名です。衣服をまとったイエスの左胸にいばらで包まれた心臓が槍で刺され血がにじみ出ている様子がはつきり見える絵です。非常にリアルな絵なので印象に残ります。この絵の作者はこの心臓を神の愛だと言いたいのです。心臓は臓器の一つですが、昔から人の心の象徴でした。現代でもハート絵柄は愛を

示しています。

ところで、このハートで表されている神の愛の特徴は何でしょうか。それは「血」と「水」です。まず「血」から説明します。十字架上で殺されたイエスは、洗礼者ヨハネが呼称していたように「世の罪を取り除く神の子羊」そのものでした。(ヨハネ1・29)。また、イエス自身が、最後の晩餐の席上で遺した言

「イエスの聖心の月」に寄せて

鹿兒島教区司教 中野 裕 明

葉、「皆、この杯から飲みなさい。これは、罪が赦されるように、多くの人のために流されるわたしの血」(マタイ26・28)の通り、ご自分の命を人類のために捧げたものでした。このことにより、私たちは神の愛を知ったのです。

「水」については、ヨハネ福音書に次のような件があります。「濁

ころに来て飲みなさい。わたしを信じる者は、聖書に書いてあるとおり、その人の内から生きた水が川となって流れ出るようになる」(ヨハネ7・37、38)。また他の箇所では、「わたしが与える水を飲む者は決して渇かない。わたしが与える水はその人の内で泉となり、永遠の命にいたる水がわき出る」。(ヨハネ4・14) ここで言われている、その

人の「内」とはその人の「心」と同義語です。つまりイエスは私たちに生ける水をくださる、それだけではなく泉までくださいます。泉とは聖霊のことです。(ヨハネ7・39参照)

すなわち「血」と「水」とは、私たちの罪を洗い清め(贖罪)した後、いのちの水(イエス)が湧き出る聖霊をくださるということになり

この4か月間、地球上の人間は新型コロナウイルスに苦しめられました。創世記のノアの箱舟の話の中で、次のような件があります。「主は、地上に人の悪が増し、常に悪いことばかりを心に思い計っているのを御覧になって、地上に人を造つたことを後悔し、心を痛められた」。(創世記6・5)そして、洪水を引き起こすことになりました。初代教会の教父たちは当時、教会のイメージとして、ノアの箱舟を描いていました。神に忠実なノアの家族とあらゆる種類の動物たちが、この箱舟によって救われました。逆に洪水で滅んだ人たちは、神の警告に従わなかった人たちでした。

最近見たNHKテレビのコロナ感染防止のキャッチコピーは、「自分が変わらないと、日本は変わらない」でした。換言すれば、心を変えましょう、ということでしょう。私たちの心が、少しでもイエスのみ心に近づくことができますように。

I・カトリック教会と性虐待

【カトリック教会の使命】

カトリック鹿兒島司教区(以下、「鹿兒島教区」という)は、日本の社会では宗教法人法による宗教法人であり、カトリック教会の信仰に基づいて福音宣教する宗教団体です。鹿兒島教区は、カトリック教会としてキリストが望まれる、教会共同体建設を目指し、弱者の立場に立つキリストの生き方に徹底的に従う教会のあかしを目に見えるものにしていく努力をしています。

【キリスト信者の義務】

カトリック教会に属するすべてのキリスト信者は、「それぞれ固有の立場に応じて、聖なる生活、教会の発展及び絶えざる聖化の促進に尽力しなければならぬ」(カトリック新教会法典 第210条)という義務があります。

【カトリック教会の中での性虐待】

昨今社会問題になっていく様々な形態の虐待の中で、特に性虐待は、人間の生きる権利を侵害し、人格を深く傷つける深刻な問題です。これは、倫理的悪であることは当然ながら犯罪の対象となりえるからです。

鹿兒島教区に所属する教会(小教区)やカトリック諸施設における日常的な活動は、個人的な信頼関係や指揮命令に基づく協働作業が交差する場において行われます。カトリック教会に

関わるすべての構成員は、人間の基本的な権利を保障する憲法上でも、ましてや、キリスト教倫理上でも、神学的人間論においても、人間はお互いに他者を対等な人格と認め自由や権利を尊重し合う中で、その活動を行わなければならない。まして、カトリック教会の中で聖職者(司教・司祭・助祭)や修道者がその立場を利用して、性虐待を行い、人権を侵すことは絶対にあつてはならないことです。

しかしながら、カトリック教会においても、あらゆる虐待、特に性虐待等の人権侵害が起こりうる可能性があります。もし、実際にカトリック教会の中で、そのようなことが発生するよ

うなことがあれば、福音の根幹に関わる問題であり、カトリック教会にとって非常に重大な問題です。

性虐待防止基本宣言

宗教法人カトリック鹿兒島司教区

司祭は教会における力関係の中で、信徒に対して大きな力を持つた者であることとを自覚すべきです。

【権力濫用の問題】

加害者が聖職者や修道者・施設職員であった場合に、被害者が何も言えない状況があります。そこに権力濫用が生じます。この力関係の中でなされる性的な接触は、決して自由で対等なものではありません。常に抑圧的・搾取的なものになります。こうした権力構造と権力濫用の危険について理解した上で、人権を守

ることこそが牧者の使命であるとの自覚を深める必要があります。

【教会の責任】

社会の中で「救いのしるし」であるべき教会は、性虐待によって被害を受けた人を守る重大な責任があります。

【範囲】

本性虐待防止基本宣言は、別に定める「宗教法人カトリック鹿兒島教区性虐待防止及び被害者支援に関する規程」(以下、「防止規程」という)と共に、取り扱う範囲を性虐待に限定しますが、いわゆる「子ども性的虐待」は発生した場

合、この防止宣言と防止規程により対処します。

また、性虐待の事例が発生した場合、鹿兒島教区に発生した事例は鹿兒島教区が受け付けます。

鹿兒島教区は、鹿兒島教区内のカトリック関係の学校・諸施設に対しても、性虐待に関して、それぞれ学校法人、社会福祉法人等、法人・施設として、規程等を設けるように指導します。

【カトリック新教会法典の適用】

「防止規程」はカトリック新教会法典並びに、該当するローマ教皇庁通達の法規に基づいて定められ、運用されます。

II・性虐待に対するカトリック教会の基本姿勢

【自己規律】

鹿兒島教区に関わるすべての構成員は、自由と権利を享受すると同時に、自らを厳しく律しながら、教会の活動や各自の業務に従事すべき義務を負っていることを自覚します。

【性虐待の罪責性の認識】

カトリック教会において、聖職者は教会内の身分・地位や影響力を有する者として、信徒やカトリック信者でない関係者に対して、権限や影響力を濫用し、また職務を逸脱して、

【解決の責任】

不幸にも性虐待が生じた場合には、鹿兒島教区は速やかに被害者の権利を回復し、関係機関の連携協力により、柔軟かつ適切な対応を行うなどして、誠実に問題解決に取り組みます。

【自浄機能】

鹿兒島教区には、教会が陥りがちな組織防衛優先や秘密主義から脱却し、第三者機関に事実の確認と対応の検討を付託し、教区としての客観的判断を下せるようなシステムを導入します。

【相談窓口と調査機関】

被害者からの訴えや相談を受け付ける相談窓口を設けるとともに、事実関係を調査する第三者機関を設置します。

【人権意識の涵養】

鹿兒島教区は、教会全体の中でこれまで以上に、人権に関する意識を涵養することに努めます。社会的に弱い立場に置かれた人々に関する福音と教会の教えを基礎にし、人権についての理解を深め、これに関する啓発活動を行うこと、さらに子どもへの虐待や家庭内暴力等の問題に取り組む、「予防教育」を推進していきます。

【発生防止の姿勢】

鹿兒島教区では性虐待が発生しない環境を作ることとを大切にします。そして、すべての構成員の厳しい自己規律と誠意ある協力に基づき、性虐待の徹底的な防止と対策の実施に努めます。

【身体的・精神的・心理的ケア】

性虐待の被害者が身体的な傷を負っているかどうかの診断を受けるよう配慮し、適切に処置が講じられるようにします。

また、同時に多大な心的外傷(トラウマ)を受けていると考えられるので、その心的外傷に対しても、ケアをします。被害者のPTSD(心的外傷後ストレス障害)からの回復を第一に考え、被害者を特定のグループや個人で囲い込まず、専門家による治療、カウンセリング等を通して回復に向けた適切な支援をします。

【誠実で開かれた対応】

鹿兒島教区は性虐待事件の疑いがある場合、まず、被害者の立場に立ちます。また、被害の継続、再発、拡大を防ぐために、性虐待の事実が判明したら、被害者の痛みを思い、真実を見極め、信頼を回復するため誠心誠意、責任を持って対応します。特に、訴えられる聖職者や教会関係の職員は教会にとつていわずに身内なので、閉鎖的にならないように、事件を隠さずに速やかに対処し、関係者に最大限に開かれた態度を貫きます。

【経過した被害の申し出の対応】

被害を受けて長期間経過した性虐待の被害を申し出る人もあります。その場合、加害者への対応が不可能な場合でも、被害者がどのような対応を望むか、真摯に耳を傾け、可能な支援を追求します。

【謝罪と賠償】

加害者と監督責任者の謝罪はもちろん、賠償についても誠意をもって対応します。また、被害者がどのような対応を望むかについて、真摯に耳を傾けます。

【謝罪と賠償】

加害者と監督責任者の謝罪はもちろん、賠償についても誠意をもって対応します。また、被害者がどのような対応を望むかについて、真摯に耳を傾けます。



2020年4月7日

鹿兒島教区長

司教 中野裕明

付記：この「性虐待防止宣言文」は2020年4月6日の司祭評議会決定し、翌日の全司祭会議(コンベンツス)で発表。

女子寮跡を地域精神保健の手助けとして活用

―旧聖母寮の利用について報告―

レデンプトル宣教師道女会地区長 モニカ・エルハルド

旧聖母寮(レデンプトル宣教師道女会経営・女子学生寮)は43年の間、神様のご保護と祝福を豊かに受けながら、また、多くの方々の励ましとご協力を頂いて、沢山の若者たちを社会に送り出してきました。しかしながら日本社会の変化に伴い、学生たちの

旧聖母寮は、心身ともに病んでおられる方々の、就労支援や地域精神保健の一助として、また地域に開かれた場・交流の場・学習支援など、どなたでもご利用できる場として活用して頂くことになりました。そして旧聖母寮はこの4月から「NPO法人ポラーノ・ポラーリ」(理事長・森越まや)として法人を立ち上げ、新しい歩みを始めました。今後ともこの新しい歩みの上に、皆様の祈りとご指導・ご協力をよろしくお願ひいたします。

短歌
国分教会 市来房枝
十字架にかけられ御血流さるる主の姿こそ愛を悟りぬ
吉野教会 中江 均
姿なき新型コロナウイルスパンデミック聖旨求めて祈りあゆまん
身をまもるマスク姿に往時みる頭布をまとい防空壕へ

新型コロナウイルス感染症緊急募金 カリタスジャパン

- (1)国際カリタスへの資金協力を通じて、全世界で実施される救援活動や困窮者への取り組みを支援します。
- (2)日本国内での、感染症予防に取り組む活動や、生活困窮者への支援を行う団体の活動を支援します。

郵便振替番号：00170-5-95979
加入者名：宗教法人カトリック中央協議会カリタスジャパン
※通信欄に「新型コロナ緊急募金」とご明記ください。
「ゆうちょダイレクト」(インターネットサービス)をご利用の方は、「ご依頼人番号」欄に当意向の固有番号「6257」を入力ください。

+KABAYAN SEKSYON+
Pagsasabuhay sa Pag-ibig sa Pamilya

Sa mahabang pagninilay sa Imno sa Pag-ibig ni San Pablo (1 Cor 13:4-7) sa isang bahagi ng *Amoris Laetitia*, sinasabi ni Papa Francisco: "Iminungkahi ko na huwag hayaang lumipas ang araw nang hindi nagkakasundo sa pamilya...Sapat na ang isang simpleng pagpapakita ng pakikipagkasundo at maibabalik ang mabuting pagsasamahan sa pamilya. Huwag hayaang lumipas ang araw nang hindi gumagawa ng paraan sa pagkakasundo sa pamilya"(b.104).

"Ang totoo, mapapanatili at mapagiging-ganap lang ang pagkakaisa sa pamilya sa pamamagitan ng pagpapakasakit. Kinakailangan ang kahandaan at pagiging bukas-loob ng bawat isa at ng lahat, sa pag-unawa, pagtitimpi, pagpapatawad at pakikipagkasundo.

Alam na alam ng mga pamilya kung paanong marahas na sinisira ang pagkakaisa nila at may mga pagkakataong pinapatay pa nga ito ng pagkamasarili, tensiyon, pagtatalo, hindi pagkakaunawaan" (b.106).

Tunay na ang pagkakaisa at pagkakasundo sa pamilya ay "nangangahulugan na tinatanggap natin ang pagpapatawad ng Diyos, iniligtas ng kagandahang-loob ng Diyos at hindi ng ating sariling kakayahan."

Sa pagtanggap natin ng walang kundisyong pag-ibig ng Diyos, "magkakaroon tayo ng kakayahang magpahayag din ng malalim na pagmamahalan at pagpapatawad sa kapwa kahit na sinaktan nila tayo" (b.108).

Magagawa lang natin itong pagpapatawad sa tulong nga Diyos diyang sa kanyang Anak na si Jesus.
(Fr. Dino Orolfo)

福音書の中で洗礼者ヨハネもイエス様も「神の怒り」という言葉を使います。「怒り」と聞くとも憎悪をイメージするものですが、果たして私たちが愛して下さる神様がこのような思いを抱くのでしょうか。

臨月を迎える女性のお腹や乳が張るといったニュアンスが当てはまるかもしれせん。であれば、新しい命を産み育てる苦しさや痛みのことるを思い浮かべることが

と分かつとうとしない者たちへのやるせない思いが「神の怒り」という表現の背景にあると考えられます。神様もイエス様も御言葉を受け入れてもらえたら...という希望を抱いていたことには違ひありません。

神の怒りについて



新約聖書が書かれたギリシャ語の「怒り」には「完熟する」という動詞を名詞化したものがあります。ニュアンスとしては、果実などが果汁や果肉でパンパンに膨れ上がり、皮が張り裂ける寸前、といった感じです。また、「激昂する」殺

す」という動詞を名詞化したものもあります。ニュアンスとしては、抑えきれない爆発的な怒り、といった感じです。洗礼者ヨハネやイエス様は「完熟する」という動詞を名詞化したものを使っています。この名詞は女性名詞です。ここから果物が張り裂けんばかりに実っていることをイメージすると、

人間が神の国で永遠の命に与ることこそ神様やイエス様の望みです。であれば「神の怒り」と訳される言葉には、洗礼者ヨハネやイエス様を通じた神様の大きな期待が込められていると言えるのではないのでしょうか。

2日(火)	松森孝郎神父命日(2017年)
3日(水)	中野アカデミー・教区本部・19時
7日(日)	三位一体の主日
10日(水)	中野アカデミー・教区本部・19時
11日(木)	フリチエル神父命日(2016年)
14日(日)	キリストの聖体
15日(月)	奄美地区宣教師会・谷山教会・13時30分
16日(火)	奄美地区司祭会
17日(水)	中野アカデミー・教区本部・19時
19日(金)	イエスのみ心
21日(日)	青年会・教区本部・18時30分
24日(水)	洗礼者聖ヨハネの誕生
28日(日)	年間第13主日
29日(月)	聖ペトロ使徒座への献金
30日(火)	年間第12主日

【司教日程】 3日中野アカデミー、10日中野アカデミー、17日中野アカデミー、24日中野アカデミー、25日司祭生涯養成会議(大分)、26日愛の聖母園評議会、28日終身助祭候補者選任式、29日司祭評議会及び教区司祭会、30日コンベンツ

【祈りの意向】 福音宣教 福音宣教 日本教会 孤立している人

【香典返し御礼】 5月12日 中野和明様 故・中野道子様 35万1千円

ウガンダの旅 2018

カンパラ市内観光 ⑮

谷山教会信徒 岩崎正幸

ワールド・ビジョン・ジャパンを通じて貧しい国の子どもの支援を続けているラ・サール学園教諭の岩崎正幸さんは、一昨年夏、支援している子どもがいるウガンダを訪問した。これは生徒のためにと執筆した「ウガンダの旅2018」の15回目。

8月4日土曜日の朝。ミサが7時からということでもままいるか、一度朝食に戻るか迷う。しかし、朝食をとつてしまふと聖体拝領ができないので(拝領前1時間は何も食べないことになっている)、拝領後すぐ帰って食べる作戦にした。

6時半ころからロザリオの祈りが始まる。英語ではわからないので、日本語にて小声で一緒に唱える。土曜日に

と子ども食堂は、この4月で4年目になりました。多くの方々の協力に感謝します。

毎月第3土曜日12時〜14時に開きます。見学またはボランティア参加にどうぞ！お待ちしております。今後とも、ご協力、ご支援をよろしく願っています。

と子ども食堂から 御礼と2019年度会計のご報告



Table with 3 columns: 収入の部 (Income), 金額 (Amount), 備考 (Remarks). Rows include 寄付金 (202,500), 食事代 (31,600), 雑収入 (5,047), 前年度繰越金 (994,962), 合計 (1,234,109).

Table with 3 columns: 支出の部 (Expenditure), 金額 (Amount), 備考 (Remarks). Rows include 食材 (155,035), 消耗品 (38,438), 雑費 (120,330), 残高 (920,306), 合計 (1,234,109).

キリスト教伝来記念祭での中野司教のメッセージ「ザビエルがもたらしたキリスト教の福音こそが本当の平和。教区として平和についてよく考え、戦争を起こさない仕組み、考え、生き方に取り組み、必要がある。それは富を選ぶのか神を選ぶのかという選択にかかっている。迷わず神をえらぶことのできる生き方が送れるよう、ザビエルが伝えた福音を心に刻んでいこう。」という呼びかけに、私はミサと福音によつてすべてが与えられていることに改めて気付かされる思いでした。さらに「教会のミサの大

切きは神と人、人と人が結ばれる「交わりと一致」です。しかしそれを妨げる様々な不和(夫婦・親子・人種・国家間)、さらに様々な社会の要因に囲まれています。(司教の手紙636号)と教えられるように、現代に生きる私たちは、よく目を覚まして居なければと気付かされます。30年前に「情報を制した者が正義を勝ち取るのだ」と誇らしげにいう米軍司令官の姿は私の記憶にまだ新しい。瞬時に世界中に情報が流され、何度も繰り返されると本当にそうだと思ってしまう。私はこの30年「近隣諸国は敵国ばかり」と聞かされてきました。最近ではトランプ

も悪者だと聞かされ、頼れるのは自国だけと誘導されているようです。今回のコロナ騒ぎも報道を3か月も独占してきましたが、国民の不安をあまり緊急事態を憲法改定のきっかけに利用しようとしているという論評もあります。また、このどさくさに紛れて行われようとしている政策にも注意しなければなりません。福島原発の汚染水の海洋放流(タンクが一杯)、鹿児島原発稼働20年延長(耐用年数を超えて)、沖縄・鹿児島島の戦術基地化推進、辺野古基地の設計変更届(最も多忙な時期にあえて提出)、三権分立の破壊(検事総長人事)など。

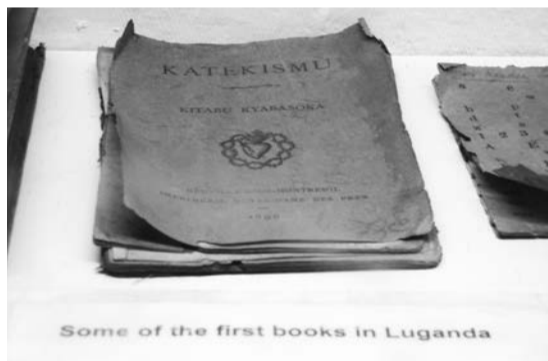
「自衛警察」という言葉を南日本新聞5月11日付けの「風向計」で知りました。感染の恐れがある行動に目を光

らせ、非難する人々を指します。県外車に対して怒鳴ったり、いたずらしたり…。戦時中には各集落の隣組が利用されましたが、緊急事態を前に他者への不寛容が、市民社会を内部から分断する力です。かつてはハンセン病患者とその家族も阻害され隔離されました。今回のコロナ対策も同じです。その中であつて「マスクをしないと後ろ指をさされる」という弱さと、もしかして私自身も警察、差別をする加害者かなと反省させられます。

ザビエルのように「主よ、十分です」と言える信仰には程遠く、ペトロのように「イエスを知らない」と叫び、ゲッセマネで祈るイエスのそばで眠ってしまう自分があります。それでも、私は正義と平和の集いに参加させて

さらには、飲み物は？と聞かれたので、ジュースももらうことになりました。自分だけ飲み物を持って車に乗ったので、何度も説明するはめになった。やれやれ。

この日は、首都カンパラ市内の見学と土産物タイム。見学は大半が車窓から。国会議事堂や放送局などはあまり興味なし。最初の下車は、国立博



ウガンダ最古の印刷物のひとつカテキズム

物館だった。ここで興味を引いたのは、ウガンダで最初の出版物がカテキズム(キリスト教の要理の本)であることと、最初の博物学的な調査がカトリックの宣教師によつて行われたこと。このあたりは、戦国時代の日本と同じような状況なのかもしれない。

次の下車は土産物タイム。クラフトショップに案内して下さるといふことであつた。でも、クラフトにはほとんど興味なく、買うつもりもないので、その近くにあるというコーヒー豆販売所でコーヒーをじっくり見ようと考えていた。ところが、その店が開いていないという。昨日、あえてコーヒーは1種類しか買わずにいたのに、今日、買えないとなると、土産物作戦大失敗。なんとコーヒーを購入しなくては、とあせる。クラフトショップには目もくれず、近く

のショップをあたる。小さな雑貨屋のようなところを発見。コーヒーが1袋だけあつた。いかにも一般家庭用。それとあやしいカレー粉を発見。ケニア産であつたがアフリカ土産には違いないとそれも購入。帰国してから使ってみたら、ちっとも辛くなかつた。さらにクラフトショップから離れ、コーヒーを求めてウロウロ。マクドナルドのような店を発見。「コーヒー豆置いてない?」「いやうちにはない、隣のスーパーマーケットに行けば」と教えてくれた。確かに隣はちよつと大きめのスーパーマーケット。あわてていたのだらう、全く気づかなかつた。そのセナナ・ハイパーマーケットに入る。昨日のビクトリア・モールと同じくここもリュックサック持ち込み禁止。入口で預けてから買い物。ともかく急ぎ、コーヒーのコーナーへ。種類は少なかつた。しかも豆はなく粉のみ。一般家庭では豆からコーヒーを飲

むということはありません。かな。土産品という感じはなく、これもいかに庶民的な袋である。そういうのがいい。2袋購入してほ持ち金を使ひ切る。集合のクラフトショップ前へ。ぼちぼち集まっているが、皆さん道路を渡っていく。なんと、例のおすすめのコーヒーショップが開店したのだという。「エッ?」そのおすすめのコーヒーショップ、ワンサウザンド・カップ・コーヒーは、いわゆる露天商で、常時商売しているわけではなかつたのだ。

大きめの袋詰めコーヒーは粉で1種類のみ。いかにもうまそうではないか。何とか手に入れたかと思つたが、1袋2万シリングという。さつきのスーパーマーケットではぼウガンダ・シリングは使ひ果たしていた。あきらめきれないので、やはりコーヒーを買いにきていたVさんから借金をすることに。あとで日本円で返します、と。

KJPP (鹿児島正義と平和協議会) 通信 6月号

抑圧と差別からの解放を

抑圧と差別からの解放を

抑圧と差別からの解放を

抑圧と差別からの解放を

抑圧と差別からの解放を

抑圧と差別からの解放を

抑圧と差別からの解放を

抑圧と差別からの解放を